

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域》
- 2 単元名 『木の子の歴史を知ろう』 (全20時間=実施時期: 4月~1月)
- 3 単元のねらい

天保川を造った地域の偉人について調べたり、隔年でオペレッタを演じたりすることを通して、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		天保川や平木京介について知る。	地域の方の話を聞く。 資料を読む。 見学やフィールドワークに行く。	ワークシートにまとめる。	プレゼン資料にまとめて、5年生に向けて発表する。学芸会で全校児童や保護者、地域の方に向けて発表する。 (隔年)
出逢いの仕掛け	もの	天保川について調べる。	地域の方の話を聞く。 資料を読む。 フィールドワークをする。	ワークシートにまとめる。	プレゼン資料にまとめて、5年生に向けて発表する。学芸会で全校児童や保護者、地域の方に向けて発表する。 (隔年)
	ひと	平木京介について調べる。	地域の方の話を聞く。 資料を読む。 見学に行く。	ワークシートにまとめる。	プレゼン資料にまとめて、5年生に向けて発表する。学芸会で全校児童や保護者、地域の方に向けて発表する。 (隔年)
	しごと(こと)				
引き出された姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	天保川の意義に気づく。	地域の偉人の功績を知る。		
	やり抜く力 (忍耐と向上心)				
	まき込む力 (発信と協働)				学芸会で全校児童や保護者や地域の方に向けて発信する。

5 他教科・領域、学校行事等との関連

学芸会(隔年)

6 他学年、他校(園)種との連携・接続・交流

7 単元の流れ（探究過程）と活動の実際

課題設定

昨年度自分たちが取り組んだ学芸会を見て、天保川開発や平木京介について確認する。

情報収集



地域の方の話を聞く。



浄見寺さん等を見学



天保川のフィールドワーク

整理・分析

ワークシートに調べたことを整理する。プレゼンテーション資料にまとめ、発表の用意をする。

まとめ・表現



一人一台端末を利用し、5年生に発表

8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○見学場所で説明を聞くことで、平木京介など天保川に関わった人物の功績について深く考えることができた。

△外部の方との日程調整が年々難しくなっているため、新たな地域人材の紹介をしていただけるように働きかけをしていく必要がある。

☆インターネットだけでなく、古い紙資料を見たり、自分たちで写真資料を集めたりできるようにして、フィールドワークの質を高めていきたい。